

臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：骨盤骨折術後鎮痛におけるリアルタイム超音波ガイド下硬膜外麻酔

の効果

<目的及び概要>

骨盤骨折は術後痛に難渋する手術の1つである。従来はオピオイドの持続静注もしくは持続神経ブロックなどで鎮痛が行われていたが、完全な制御に至らず、患者の満足度は低かった。今回、より広範囲な鎮痛を期待して硬膜外麻酔での管理とし、体勢が十分に取れないことに対してリアルタイム超音波ガイド下に硬膜外麻酔を行ったので、その効果を調査する。

<研究方法>

2025年1月から2025年11月までの間に寛骨臼前方プレート固定術に対してリアルタイム超音波ガイド下に硬膜外麻酔を行った患者の手術記録及び診療録からデータを取得する。主要評価項目はNRS（安静時及び体動時）、追加鎮痛薬の使用、術後悪心嘔吐の有無とした。統計解析にはMann-Whitney U検定およびunpaired-t検定を用いて、 $P < 0.05$ を統計学的有意とした。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

麻酔科：古賀 聡人 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事企画課

電話：0798-34-5151（代表）